

No. 1238

ミス東京決まる

秋の大東京祭を彩る「第21回ミス東京コンテスト」が9月30日東京日比谷公会堂で華やかに行われました。東京全域の地区ミス48人がお揃いのカクテルドレスに身を包みかわいい王冠姿で出場、司会の玉置宏さんの紹介でひとりひとり舞台に進み美と知性を競いました。このコンテストは東京都の後援で東京新聞の主催、審査には美濃部都知事をはじめ各界から17人が当りました。審査員と一問一答のうちにコンテストは進みます。最後は審査員の席まで降りて大サービス。結局ミス東京第1位には江原利枝さん(19) 一千代田代表一第2位に中村恵理子さん(22) 一文京代表一、宝久美加子さん(18) 一田無代表一がそれぞれ選ばれました。ミス東京は向こう一年間都民を代表して東京都の公式公事に出席活躍することになっています。

人質全員を解放

— 日航機乗っ取り事件 —

9月28日、午前11時すぎパリ発東京行き日航472便が日本赤軍に乗っ取られた。乗員14人、乗客142人を乗せた同機は戒厳令下のバングラディッシュ、ダッカ空港に強行着陸。犯人は、日本国内で拘置中の9人を釈放、更に人質の身代金として600万ドル(16億)を要求した。政府は29日、福田首相をまじえた緊急閣僚懇談会で対策を協議、人命にかえることはできぬとして犯人の要求を全面的にのむ事を決定した。ハイジャック犯人の要求で超法規的措置をとるのは50年8月のクアラルンプール事件に次で2度目。釈放される9人のうち大村、知念、植垣の3人は出獄を拒否。奥平純三、大道寺あや子、浴田由紀子、城崎勉、仁平日史、泉水博の6人は出獄した。特別機には、責任者として石井一運輸政務次官が同乗、10月1日くしくも「法の日」朝6時、羽田を発った。第82臨時国会で福田首相は「法治国家として、このような措置をとらざるを得なかった事は誠に断腸の思いであります」10月3日、犯人たちは一部の人質を乗せたまま、ダッカを発ち、アルジェリアのベイダ空港に着いた。ここでの交渉で人質全員を釈放、事件は135時間ぶりに解決した。10月4日、朝6時30分、ダッカ空港で降ろされた乗員、乗客92人が羽田についた。乗客の一人は無事帰国したよろこびをかみしめながら「コマンドがピストルを手に入った時はもう駄目かと思った」と恐怖の模様を語った。日本中に不安と焦燥をつのらせた乗っ取り事件、今後のハイジャック対策に万全が期されなければならない。